

「希望（のぞみ）」の学習を通して、様々な人々とともに、積極的に、粘り強く課題解決に取り組む中で、社会において有為な人となるべく自己の向上をはかる子どもの育成を目指します！

「希望（のぞみ）」の授業

今回は、**幼小**接続期（年長・1・2年生）と**小中**接続期（5・6・7年生）の授業を紹介します。

幼小接続期部会 「交流でつながる」

年長・1年生

交流活動・交流単元「みんなでいっしょに」



ボールを譲りあげよう。



何色の花がさくかな。



泥と葉っぱの餃子はおいしいよ。

大きく
なあれ！



年長児と1年生の交流「みんなでいっしょに」では、年長児は小学校を身近に感じて1年後の小学生になった自分像を思いえがけるようにすること、1年生は年長の頃にもっていたお兄さん、お姉さんの気持ちを想起させ、力を発揮することをねらっています。写真は、年長児1人と1年生2人がペアグループを作り、一緒に遊びながら仲を深めています。ペアグループの自己紹介では、「みんな6さいじゃん!!」という場面もありました。年齢が近いということで、1年生がいつもお兄さんお姉さん役をするわけではなく、ドッジボールでは本気でぶつかり合うライバルとなったり、ときには年長さんが1年生を引っ張ったり、多様なかわり合いが生まれています。また一緒に植えたビオラのお世話をすることで、互いに会えないときでも、ペアさんのことを思う時間をもてるようにしています。

小中接続期部会 「方法でつながる」

5年生「創ろう！『自分物語』（校外宿泊学習）」

6年生「奏でよう！『自分物語』～京都旅情編～」

7年生「山の生活2016」

本校校園では、その行事を行う目的から子どもたちが話し合い、自分たちで活動内容やスケジュールを決めていきます。5・6・7年生の宿泊型の行事では、「目的・目標設定⇒計画立案⇒準備⇒本番⇒振り返り」という一連の流れに沿って活動します。その中で、子どもたちが主体的に活動に取り組む姿や、活動が行き詰まった時に仲間と協力して解決する姿が見られました。このように「希望（のぞみ）」の学習では、仲間と共に将来を切り拓いていく力を育てています。



自分たちの目標を考える

僕たちは、6年生がやっていたかまどの組み方でやってみよう！薪の組み方って、これでよかったのかな？（5年生）



臨機応変に対応する

僕たちはこの単元でどんな力を身につけることができるかな？僕たちの課題は何だろう？これを目標に取り組もう！（7年生）



仲間と協力しながら活動する

伏見稲荷は3時間で回る予定だったけど、1時間半で回れた。余った時間を使って東寺にも行くのは可能かな？（6年生）

「研究開発だより」（カラー版）をHPに掲載していますので、併せてご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/fmihara/kenkyu/>